

組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

共通評価項目	
カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定
サブカテゴリ1	
事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	
評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している 評点(A)	
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) <input type="radio"/>非該当
【A+の取り組み】 <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	
評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(A)	
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している <input type="radio"/>非該当
【A+の取り組み】 <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	

評価項目3

重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

カテゴリ1の講評

事業所の理念の明示については、事務所や各部屋に掲示するほか、事業計画書・マニュアルに記載されている。職員の理解を深めるため各マニュアルの保管場所を定め、常時確認ができる体制を整えている。また、保護者への説明については、入園説明会や保護者会や保育参観の際に行っている。

事業計画は理事長・園長が作成した後、リーダー会議と職員会議での協議を経た上で完成となり全職員に周知されている。重要な案件の決定は、5名によるリーダー会議で検討され、話し合いのもとで園長が決裁し、職員会議にて伝達されるため、内容については各職員が把握でき、職員一人ひとりが参加意識を持つように工夫されている。その結果、園長を中心に職員の気持ちが一丸となり行動できる土壌が築かれている。園が目指していることの実現に向け、全職員が一丸となって取り組む姿勢は高く評価できる。

決定事項は、必要に応じて毎月の園だよりや掲示を通じて保護者へ知らせたり、行事の際等に個別説明し、話し合い、理解を得るようにしている。

カテゴリ2		
2 経営における社会的責任		
サブカテゴリ1		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している 評点(A)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】 <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている 評点(A)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 透明性を高めるために、地域の人々の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】 <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		
サブカテゴリ2		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある 評点(A)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】 <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		

カテゴリ3

3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

サブカテゴリ1

利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している

評価項目1

利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)

評点(A)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

[A+の取り組み] あり なし

評価項目2

利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

[A+の取り組み] あり なし

評価項目3

地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している

評点(A)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	<input type="radio"/> 非該当

[A+の取り組み] あり なし

カテゴリ3の講評

苦情解決の仕組みは、入園時に説明し、入園のしおりや掲示板にも明示している。そのほか、入園時以外に個人面談を必要に応じて随時実施しており、園児1人ひとりに経過記録を作成して、個別の意見や要望、苦情に対応している。また意見箱を設置するなど、保護者からの意見の把握に取り組んでいる。これらの仕組みや口頭などを通じて把握された保護者の意向には、園だよりと園内掲示などで回答している。

保護者の声を改善活動に反映させるため、保育参観や各種行事の際に年5回程度保護者へのアンケートを行っている。アンケートの結果については保護者からの意見1つひとつに回答をし、園だよりで保護者に伝えたり、アンケートの回答を配布してフィードバックしており、日々の保育に反映させるとともに、関係者の理解を得よう努めている。

地域や事業環境に関する情報や感染症サーベイランス情報の収集等については、葛飾区私立保育園連盟園長会、東京都、葛飾区、葛飾区医師会、保健所、消防署などから積極的に行っており、保育を取り巻く環境や行政や業界の動きについて把握に努めている。

カテゴリ4		
4	計画の策定と着実な実行	
サブカテゴリ1		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している		
評点(A)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 年度単位の計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】 <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している		
評点(A)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】 <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		

評価項目3
着実な計画の実行に取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にすることの取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

[A+の取り組み] あり なし

サブカテゴリ2

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評価項目1
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	<input type="radio"/> 非該当

[A+の取り組み] あり なし

カテゴリ4の講評

経営環境分析をもとにした中期経営計画の策定は本年度より開始している。公立保育所の指定管理化や民間移管等を活用した園の増設方針など、取組の必要な事項の洗い出しは済んでおり、今後は財務面の網羅性を高めていく予定。18年度新設園でありながら中期計画まで着手している点は高く評価できる。

計画の策定は理事長・園長主導だが、検討はリーダー会議・職員会議での十分な協議を経て決定されている。計画内容については、目標を高く設定すると共に妥協しないことを方針としており、着実な遂行に向けた密な軌道修正を行っている。

経営改革等推進事業によりコンサルタント会社を活用して、園全体の各種課題について取り組みを開始している。経営課題の設定、職員の意識改革、サービスの質の向上に向けた仕組みや業務の改善等を進め、経営理念の浸透や職員の研修、人事考課制度の定着・改善などに取り組んでいる。年度事業計画は丁寧に作成されており、18年度開設でありながら職員の役割は明確になっている。

カテゴリ5

5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリ1

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる

評価項目1

事業所にとって必要な人材構成にしている

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目2

職員の質の向上に取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	○非該当
●あり ○なし	4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している	○非該当
●あり ○なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

サブカテゴリ2

職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる

評価項目1

職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

[A+の取り組み] あり なし

評価項目2

職員のやる気向上に取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

[A+の取り組み] あり なし

カテゴリ5の講評

人事考課制度は導入済みであり、6月と12月の人事考課面接、9月の意向調査および2月の新年度役割面接など密な育成・活用の仕組みを構築している。

職員の質の向上策として四半期毎の育成計画を作成。「私の目標」を設定し、自主的に研修計画を策定させている他、研修成果の記録等を義務化している。また、研修成果を高めるため、報告会を開催している。

職員は自らの行動を振り返るために「私の目標」の反省欄を提出し、園長が毎年度のはじめに個別面談を行い、レベルアップの指導をしている。また人事考課によって評価を行い昇給・賞与額に反映している。就業環境については業務負担や研修日程に合わせて勤務ローテーション表を作成し、勤務日程の調整を行い、負担の軽減を図っている。また職員の健康管理には、毎日の職員健康管理調査表による把握のほか、看護師による健康相談が随時行われている。

7			カテゴリ7		
情報の保護・共有					
サブカテゴリ1					
情報の保護・共有に取り組んでいる					
評価項目1					
事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる					評点(A)
評価	標準項目				
●あり ○なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している				○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している				○非該当
●あり ○なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している				○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし					
評価項目2					
個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している					評点(A)
評価	標準項目				
●あり ○なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している				○非該当
●あり ○なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している				○非該当
●あり ○なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している				○非該当
●あり ○なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている				○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし					
カテゴリ7の講評					
<p>職員に対しては入職の際、園と職員間で守秘義務契約を締結し、違反行為の禁止と退職後も秘密を保持すべき義務が課されている。また個人情報保護規程が整備され、保護者に個人情報保護に関する方針(プライバシーポリシー)が伝えられている。個人情報について説明指導が行われており、「個人情報保護規程」「個人情報保護に関する方針」「個人情報の利用目的と取扱いについて」を作成し、各職員が常時確認できるように整備されている。</p> <p>パソコンはパスワードを設定しアクセス制限している。書類に関しては、重要書類はキャビネットで保管され施錠が徹底されており、情報漏洩防止に努めている。情報の更新は毎年度末に整理・更新され、訂正・差し替えが行われている。</p> <p>保護者には「個人情報の利用目的と取扱いについて」の冊子を配布して、利用目的や情報提供、例外について説明している。また園のしおりに個人情報保護に関する方針(プライバシーポリシー)が綴じられ配布しており、保護者から理解を得ている。園内の個人情報として園児の写真や名札、下駄箱の名前などがあるが、これらについても保護者の同意を得て使用されている。</p>					

カテゴリ8	
8 カテゴリ1～7に関する活動成果	
サブカテゴリ1	
前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ1:「リーダーシップと意思決定」 ・カテゴリ2:「経営における社会的責任」 ・カテゴリ4:「計画の策定と着実な実行」	○ A+ ● A ○ B ○ C
改善の成果	
18年度(平成18年10月)新設園ではあるが、当初より理念の明確化と浸透策は講じられており、保育園に求められるサービスの多様化への意識は高まっている。単年度計画のみならず、中期計画の策定も実施しており、経営改革姿勢は強い。本年度は、実質的に立ち上げ初年度であり、組織確立が重点テーマであったが、給与制度・人事考課制度は既に構築されており、今後の新規園拡大の方針も打ち出すなど、法人経営基盤強化の布石を着実に打っている。	
サブカテゴリ2	
前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ5:「職員と組織の能力向上」	○ A+ ● A ○ B ○ C
改善の成果	
経営改革等推進事業によりコンサルタントを活用して、職員の意識改革、サービスの質の向上、業務の改善等への取り組んでいる。人事考課制度の定着・改善などに取り組んでおり、人事考課の内容理解や考課基準の統一などに向けてコンサルタントより研修を受け、職員の意識改善や能力開発が行われている。外部研修については積極的な受講を奨め、本年度前半に比べて後半は三倍の受講件数に達している。	
サブカテゴリ3	
前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ6:「サービス提供のプロセス」 ・カテゴリ7:「情報の保護・共有」	○ A+ ● A ○ B ○ C
改善の成果	
個人情報保護規程、個人情報保護に関する方針(プライバシーポリシー)、個人情報の利用目的を作成した。個人情報保護に関する方針は園内に掲示し日常確認できるように努めている。個人情報の利用目的についてもマニュアルに追加し、職員が把握すると共に、保護者へも配布し、園長から説明を行い理解を得ている。外部講師を活用し個人情報に関する研修を行い、個人情報流出事例や損害、個人情報保護に関する法律についての内容把握や責任などについて学んだ。職員は研修等により理解を深め、個人情報保護を遵守した活動を意識して業務を行っている。	

サブカテゴリ4

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

A+ A B C

改善の成果

制度改定など保育園を取り巻く環境が厳しくなる中、行政への働きかけや実績によるPR活動を行い、収入増加に努めている。前年度が半年であったことから増収は当然だが、今期は利用率ほぼ100%であることから2倍以上の収入となっている。経営コンサルタントによる今後の経営状況のシミュレーションを行い、また園増設によるスケールメリット追求を含め安定した経営がされるよう取り組んでいる。

サブカテゴリ5

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している

・カテゴリ3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

A+ A B C

改善の成果

保護者の声を改善活動に反映させるため、保育参観や各種行事の際に保護者へのアンケートを実施している。保護者や地域との関係は保護者会、ボランティアなどとの交流は盛んに行われ、園との隔たりは無く、一緒に保育園を盛り上げるという関係が構築されている。利用者調査の総合的な評価では不満という回答は無かったが、さらにアンケート回数を増やし、ニーズを把握し、より質の高い保育を目指している。